

平成26年6月30日
水産庁

水産物の市況について（平成26年6月及び7月）

—東京都中央卸売市場における平成26年6月（平成26年5月21日～6月20日集計）の市況と、
平成26年7月の市況見通し（前月との比較）—

I 平成26年6月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量（水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計）は前月並みとなり、卸売価格（水産物全体の1キログラム当たり平均価格）は横ばいに推移しました。

II 平成26年7月の主要品目の市況見通し

「まいわし（生鮮品）」

入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

「さけ・ます（塩蔵品・冷凍品）」

入荷量は新物の養殖ギンサケやトキサケが搬入が続くものの、冷凍原料・製品はやや減少することから、全体では前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「さば（生鮮品）」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれるものの、魚体が小さいことや需要期でないことから、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「するめいか（生鮮品・冷凍品）」

入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれるものの、サイズが大きくなっていくことから卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「あじ（生鮮品）」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。

「まぐろ（冷凍品）」

入荷量は大きな変化はなく前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「かつお（生鮮品）」

入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

凡例（目安）

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加（減少）	やや強（弱）含み
11～20	増加（減少）	強（弱）含み
21～50	かなり増加（減少）	かなり強（弱）含み
51～	大幅に増加（減少）	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)
(単位:千トン、円/kg)

	6月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
26年	45	890	44	893	47	898
前年	47	802	46	796	53	800

注1: 入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。
注2: 入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	6月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	323	85	97	88
さけ・ます(平均)	868	99	134	139
(ぎんざけ塩蔵品)	867	100	135	130
(あきさけ塩蔵品)	531	100	103	106
(ときさけ塩蔵品)	954	100	131	126
(べにざけ塩蔵品)	1,041	100	124	118
(さけ類冷凍品)	869	100	140	150
さば(生鮮品)	249	75	91	78
するめいか(平均)	440	90	109	108
(生鮮品)	423	85	108	100
(冷凍品)	480	100	110	130
あじ(生鮮品)	511	91	78	92
まぐろ(冷凍品)	1,636	118	139	125
(めばち冷凍品)	999	101	116	106
(きはだ冷凍品)	875	100	107	96
(くろまぐろ冷凍品)	3,907	98	111	114
(みなみまぐろ冷凍品)	2,566	113	118	118
かつお(生鮮品)	539	84	85	67

注1: 品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2: 6月の価格は1~20日までの速報値を元に算出。平年とは平成21年~25年の加重平均値。

注3: さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4: さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5: まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先: 水産庁加工流通課企画調査班
代表 03-3502-8111
内線 6617 岡野、原、安井
直通 03-3591-5612